

「ひたちなか市まちづくりニュースレター」は、ひたちなか市で行われている協働事業の紹介や、まちづくり活動、地域コミュニティ組織の情報などを中心にお届けいたします。



ひたちなか・ふれ愛隊養成研修講座

ひたちなか市役所探検

▲市職員に質問をする参加者

ひたちなか・ふれ愛隊養成研修講座において市役所探検を行いました。

平成27年8月7日に、ひたちなか・ふれ愛隊養成研修講座の一環として、「市役所探検」を開催しました。

ひたちなか・ふれ愛隊養成研修講座は、市がNPO法人生活支援ネットワークこもれびに委託している事業です。楽しみながら学べる体験型の講座で、誰もが笑顔で暮らせるまちの実現を目指しています。体験先は、市内で活躍している市民団体や福祉施設などです。参加者からは「多くの人と話すことができた」「新

たな発見があった」などの感想も聞かれ、ボランティア活動のきっかけとなっています。

市役所探検では、数名の班に分かれ、市職員への質問を通して市が提供しているサービスなどを知ることができました。参加者からは「市役所を訪れる機会が少ないので、市の仕事を知るよい機会となった」などの声もあり、貴重な体験となったようです。



▲ひたちなか・ふれ愛隊養成研修講座は、毎年さまざまなボランティア体験講座を用意しています。(上：くらし協同館なかよし、下：市民交流センターひたちなか・ま)

特集 ひたちなか市 コミュニティ活動紹介

ひたちなか市では、平成24年度から地域コミュニティ組織による公民館等の地域運営を進め、平成26年度には、中央公民館（現生涯学習センター）を除く市内全ての公民館等が地域運営に移行し、現在では、12のコミュニティセンター等が地域コミュニティ組織により運営され、さまざまな特色ある事業が展開されています。今回は、そのうち5つのコミュニティセンターで行われている取組をご紹介します。



「市民活動拠点施設」のホームページ

市民活動課のホームページ「市民活動拠点施設」には、各コミュニティセンター等の「お知らせ」、「利用案内」、「施設案内」等について掲載していますのでご覧ください。
(<http://www.city.hitachinaka.lg.jp/site/center/>)



楽々亭・遊々亭（サロン事業）

1 中地区コミュニティセンター

一中地区では、高齢者や子育て家庭の方々の居場所について、すでに行政や自治会の集会所などでサロン活動が行われているものの、まだまだ少ないとの声を受け、コミュニティセンター内に「多世代交流室」を設け、高齢者サロン「楽々亭」と子育てサロン「遊々亭」を開設しました。健康体操の後に提供される楽々亭の「100円カレー」は、参加者の皆さんから好評を得ています。

- ・楽々亭…毎月第2・4月曜日開設
- ・遊々亭…毎月第3・4火曜日開設



▲ 子育てサロン「遊々亭」

おはなしクッキング

佐野コミュニティセンター

佐野コミュニティセンターを活用した新たな事業として、今年5月に佐野図書館との共同企画「おはなしクッキング」を開催しました。小学生を対象に読み聞かせを行い、本に登場する料理を実際に行うというユニークな内容で、20人以上の子どもたちが集まりました。

第2回目は、小学校高学年を対象に、佐野コミュニティセンターの利用団体の協力を得て、パン作りと読書会を予定しています。



▲ 子どもたちだけで絵本に登場したハンバーグを作ります

子育てサロン「あそぼうね」

市毛コミュニティセンター

市毛コミュニティセンターの児童室では、平成26年度より、ひたちなか市子育て支援センターの全面的な支援を得て、子育て支援を目的としたサロン活動を始めました。

子育て中の親子を中心とした地域住民が、子育ての相談や情報交換、趣味の活動等を通して子育てを楽しみ、仲間づくりを行うふれあい活動の場として活用されています。

来年2月には、市内の子育て中の親子を対象としたイベントの開催を予定しています。ぜひご参加ください。

・子育てサロン「あそぼうね」…毎月第3金曜日開設



▲親子で楽しむレクリエーション

見て楽しむ！やってみよう！集いの場

大島コミュニティセンター

大島コミュニティセンターでは、年間を通して広いロビーを解放し、様々な展示を定期的に開催しています。今年度は、子どもたちと作った七夕飾りや婦人学級と共作の布風鈴など季節を感じる展示、コミュニティセンターの利用団体による絵手紙、切り絵、写真などの展示会、そして地域の方が制作した珍しい繭工芸や南部菱刺し展などを開催し、施設利用者から好評を得ています。

また、季節ごとにイベントも実施しています。9月6日には「お月見イベント」を開催。当日はあいにくの空模様でしたが、講談とギター弾き語りの2部構成で行われ、地域住民を中心に大勢の人が集まり大盛況となりました。



▲「お月見イベント」

折り鶴教室

平磯コミュニティセンター

平磯コミュニティセンターでは、三重県桑名市に江戸時代から伝わる無形文化財で、「桑名の千羽鶴」と呼ばれる「連鶴」を作る折り鶴教室を開催しています。連鶴は、1枚の紙から最大97羽（全49種類）の連続した鶴を作るものです。

鶴が折れる方ならどなたでも参加できますので、関心のある方はぜひ見学にお越しください。

・折り鶴教室（講師 山崎弘道さん）…毎月第1水曜日開催



▲指先を使うことで脳のトレーニングにもなります

三世代同居・近居を応援！

- ① 住宅取得に**最大 20 万**
- ② 増改築・リフォームに**最大 15 万円**
- ③ 賃貸住宅への入居に**最大 10 万円**

市外からの転入により三世代家族（親・子・孫）での同居または近居^{※1}をお考えではありませんか？市では今年度から子育ておよび高齢者の生活支援を目的に下記の助成を行っています。助成には申請が必要となりますので、対象要件や必要書類など、詳しくはお問い合わせください。

※1 同居以外で市内に居住すること

○助成対象者

平成 27 年 1 月 1 日以降に市外から転入して三世代同居・近居を始め、同居・近居を 1 年以上継続する見込みである三世代家族の親または子（孫は中学生以下。出産予定の胎児を含む）

○助成対象経費

- ・住宅の取得に係る工事請負契約金額または売買契約金額
- ・増改築・リフォームに係る総額 20 万円以上の工事費用（外装、内装、建具、設備、給排水）
- ・賃貸住宅への入居に係る費用（敷金、家賃、引越し費用は除く）



○助成金の上限額

助成金の額は、助成対象経費の2分の1の額と次の表にある助成金の上限額のいずれか低い方の額となります。

三世代同居等の種別	助成金の上限額		
	住宅の取得	増改築・リフォーム	賃貸住宅への入居
同居	20 万円	15 万円	10 万円
近居	15 万円	10 万円	5 万円

○金融機関での優遇

助成の対象となった方が三世代同居等を支援する住宅ローン等を利用する場合、融資利率が優遇される場合があります。

まずはお気軽に市民活動課までお問い合わせください。

問合せ先・申込み先：市民活動課 ☎ 029-273-0111（内線 3222）

湊公園ふれあい館 リニューアルオープン

“スポーツから音楽活動まで”さまざまな地域活動を応援する施設

湊公園ふれあい館では、耐震改修工事が完了し、平成27年9月から運営を再開しました。体育館やトイレなど施設の全面的な改修も行い、より利用しやすい施設になりました。ぜひご利用ください。



POINT 体育館

新しくなった体育館では、バドミントンや健康体操などを楽しむことができます。



POINT 音楽室

開館時間内であれば、周りを気にせず、自由に、音楽活動を楽しむことができます。

注：楽器等は各自ご用意ください

湊公園ふれあい館

住所：ひたちなか市湊中央 1-1-1、電話番号：029-262-3167

開館時間：9:00～21:00、休館日：月曜日・年末年始・お盆

市内で活動するNPO法人を紹介します

※平成27年10月31日現在、主たる事務所が市内にあるNPO法人は、24法人あります。今回はそのうちの4法人を紹介します。

NPO法人 なかなかワーク



なかなかなかワークは、地域を元気にするために、一人ひとりがもっている力（得意技）を出し合い、みんなで実現していく、そんな組織を作りたいと活動してきました。会員たちは活力とアイデアにあふれ、設立から12年経った今も新しいチャレンジを続けています。

及び、個人の用途が多岐にわたるとなると、質問や困りごとでも多種多様になりました。女性会員5名で組織する「Maple」は、そんな声にも応えていきたいと、フリーレッスンも行っており、利用者のみなさんから「質問がしやすい」と好評を得ています。

また、市産業交流フェアと同時開催の「青少年のための科学の祭典」への参加は、市民の方々、特に子どもたちに科学のおもしろさを直接伝えることのできるよい機会です。この祭典が市の名物イベントになるよう、今後も協力していきたいと考えています。

なかなかワークでは新規会員を募集しています。経験や知識を地域のために役立てたいという方、地域で新しいネットワークをつくりたい方など、ご連絡をお待ちしています。

■平成15年設立

人材育成、まちづくりや地域の活性化に関する事業を行う。産学官連携施策に対応したコーディネートの活動、茨城工業高等専門学校との地域コンソーシアム事業、ITサポート事業、図書館支援事業、コミュニティ・ビジネス推進、まちづくり支援など。

昨年、茨城工業高等専門学校において、学生の就職準備のためのキャリア教育を担当し、就職先への自己PRの仕方や面接の受け方を指導しました。企業で働いてきただけでなく、人生の先輩として若者の将来を応援することにやりがいを感じました。

設立当初からパソコン入門講座やパソコン教室を開催していますが、ITが普

NPO法人 生活支援ネットワークこもれび

生活支援ネットワークこもれびは、2001年にひたちなか市初のNPOとして発足しました。私たちは地域の中でいっしょに暮らす人々が、「ここでずっと生きていたい」という願いを持ちながら、自らの力で生活することへの支援を行うことを目的に、顔の見える、心が通じ合う、笑顔いっぱいのもちづくりを目指しています。

具体的には、日常生活支援、お出かけサービス（福祉有償運送）、相談事業、障害のある方へのヘルパー派遣や、児童から大人の方の通所サービスなどを行っています。日々、楽しいことやワクワクすることを、利用者の皆さんとスタッフでアイデアを出し合いなが

ら活動しています。秋のわいわい祭り、クリスマス会など恒例の行事の他に、今年はリズムサークルの発表会も行いました。

また、市民協働のまちづくりを推進するため「ひたちなか・ふれ愛隊養成研修講座」を今年も市と協働で開催しました。市民のための取組を行う団体・施設の活動を知り、実際にボランティアや活動体験ができる機会です。毎年夏休み中に実施しています。お子さんから高齢者の方まで、幅広い年代の皆さんと“笑顔いっぱいの”楽しい夏を過ごすことができました。

■平成13年設立

お互いの助け合いによる福祉活動を行い、福祉とまちづくりの増進に寄与する。居宅介護事業（基本：月～金9：00～18：00）、多機能型事業デイホームはっぴいの運営、相談支援事業、福祉啓発事業、生活支援事業、まちづくり・ひとり暮らし支援など。



■ NPO とは …

Non Profit Organization(ノン・プロフィット・オーガニゼーション)の頭文字です。「非営利組織」または「非営利民間組織」と訳されています。平成10年3月25日に特定非営利活動促進法(NPO法)が制定され、NPO法人は、特定非営利活動促進法において掲げられた、保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、子ども健康育成、科学技術の振興、職業能力の開発・雇用機会の拡充など20種類の分野に該当する活動を、不特定かつ多数の方の利益に寄与することを目的として活動しています。

NPO法人 おいもジョポット

おいも ジョポットとは、ひたちなか市の特産品である「おいも」と、ジョポットは“Joyful & Powerful our town”の頭文字をとったもので、「楽しく、活力のある、我々のまちにしよう」という意味が込められています。

事業内容は、①出会い・ふれあい活動、②社会見聞活動(視察等)③困った相談活動④地域清掃活動の4つを柱とし、現在は、毎週水曜日 17:30～19:30に、勝田駅前の市民交流センターひたちなか・まの多目的室で「困った相談活動」を中心に活動しています。

こうした相談所は、一般的には昼間の時間帯に開設している場合が多いため、おいもジョポットでは下校時の学生や退勤後のサラリーマンの方々への利便を図

ろうと夕方から夜の時間に開催しています。

相談員には、元市民相談員、心理相談員、行政相談員、産業カウンセラーや元消費生活相談員などが在籍していますので、さまざまな相談に幅広く対応できます。

PR不足のため、まだまだ相談件数は少ないですが、今後はさらにPR活動にも力を入れ、相談活動の啓発に努めていきたいと思っています。

「おいもジョポット」は、いつでもだれでも無料で相談に応じます。私たちのアドバイスを、みなさんの次へのステップにしてみませんか？

■平成22年設立

水戸・ひたちなか市及び県北地域の住民が、安心して豊かに暮らす事ができるよう、健康、福祉活動や人づくり活動、環境保護活動を通して、まちづくりと地域活性化に寄与することを目的として設立。現在は、新たに「困った相談活動」を取り入れ、さまざまな悩み事に対応している。



NPO法人 チェリー館

チェリー 館は、さまざまなボランティアが集まってスタートした団体です。グループホームや就労・生活支援、配食サービス(高齢者及び心身に障害を持つ人々・透析患者・糖尿病などの方に配慮したメニューなど)、また2013年に開店した米粉を使った手打ちうどん店「うどんや」などの事業を活発に行っています。「うどんや」では、利用者の方もうどん打ちを始め、事業の全てに関わるようになり、いきいきと活動しています。これらの事業を通して、地域の方々やひとり暮らしの高齢者の方々とふれあい、交流する機会が増えました。そこにはたくさんの笑顔があふれています。

将来は就労支援利用者の方同士が助け合い、一生涯安心して暮らしていけるようなグループホーム(在宅ホスピス型)も目指しています。

私たちは全ての人々が共に支え合い共に生きていくことを望んでいます。この事業を協賛・支援して下さる方・ボランティア活動を実践して下さる方・1人で悩んでいる方・1人で困っている方、いつでもご連絡下さい。



■平成15年設立

ひたちなか市及び周辺市町村の高齢者、心身に障害を持つ人々に対し、お互いの助け合いによる福祉活動を行い、ボランティア活動を実践していくことで福祉の増進に寄与することを目的に活動している。



『Pick Up 協働』

「協働事業」を紹介します

まちづくり活動をしている団体等の紹介番組

まちづくり情報館「ひたちなか」

市内でまちづくり活動をしている団体等にスポットをあて、市民や近隣住民に広くその活動を紹介していくラジオ番組【まちづくり情報館「ひたちなか」】を放送しています。

FMぱるるん
76.2MHz

放送日

第2・第4木曜日
12:00 ~ 12:15



ボランティア初心者のための入門講座

げんき-NETひたちなか

シニアのためのボランティア入門講座

「見つけよう！始めよう！」

「退職後、何か始めたいが何をしたらいいかわからない」「1人暮らしで友達作りをしたいがどこに行ったらいいかわからない」というシニア世代の受講生が、ボランティア団体の紹介や体験を通して、市

民活動やボランティアについて学びました。認知症予防ボランティアや訪問ボランティア、趣味を活かしたボランティアなどについて知り、それぞれに興味を広げ、受講生同士の親睦も深まりました。

を開催しました。



▲脳トレを使った認知症予防ボランティアを学ぶ受講生

まちづくりに取り組む市民の交流活動拠点施設

市民交流センター

ひたちなか・ま

をご活用ください

「ひたちなか市市民交流センターひたちなか・ま」は、市と「NPO法人未来ネットワークひたちなか・ま」が協働で運営している施設で、平成24年4月にオープンした勝田駅東口のwin-winビルの中にあります。

これから何かを始めたいという方、市民活動のため新たな活動場所を探している団体、他の団体の活動の様子が知りたいなど、市民活動をしていく上でぜひご活用ください。



住所	ひたちなか市勝田中央1番2号 win-winビル203号
電話番号	029-276-0101
開館時間	10:00 ~ 20:00
休館日	火曜日、年末年始

編集
発行

ひたちなか市市民生活部市民活動課 〒312-8501 ひたちなか市東石川2丁目10番1号
(TEL)029-273-0111 内線3222 (FAX)029-271-0851 (Eメール) katsudou@city.hitachinaka.lg.jp



再生紙と植物油インキを使用しています。